

祝 町政施行50周年記念



第33号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 (有)奄美新生社印刷

伊仙町議会だより



大盛況となった大鹿児島展（東京都・東武百貨店）

「しま一番コンテストで最優秀賞に輝いた（伊仙町・島黒工房）も出店しました。」

目 次

平成23年第3回臨時会・第4回定例会議決結果他一覧	2 P
伊仙町行財政調査特別委員会関連・大島養護学校分校設置に関する経過報告	3 P
第4回定例会一般質問一覧・鹿児島地方法務局徳之島出張所の廃止について	4 P～9 P
祝・しま一番コンテスト最優秀賞受賞関連記事	10 P～11 P
議会のうごき	11 P
議会委員会構成変更のお知らせ・議会中継・編集後記	12 P

平成23年 第3回伊仙町議会臨時会 全議案 (会期11/11)

番 号	議 案 名	採 決 結 果
同 意 第 3 号	伊仙町副町長の選任について	同 意
同 意 第 4 号	教育委員の選任について	同 意
議案第42号	伊仙町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第43号	平成23年度伊仙町一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第44号	平成23年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第45号	平成23年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第46号	平成23年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第2号)	原案可決

平成23年 第4回伊仙町議会定例会 全議案 (会期12/13~16)

番 号	議 案 名	採 決 結 果
承認第11号	伊仙町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分	承 認
議案第47号	伊仙町民間資金活用住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第48号	伊仙町町有財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第49号	奄美自治会館管理組合の解散	可 決
議案第50号	奄美自治会館管理組合の解散に伴う財産処分	可 決
議案第51号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更	可 決
議案第52号	平成23年度安心子ども基金総合対策事業(地域子育て創生事業)徳之島交流ひろば活性化事業(道具一式)購入契約	可 決
議案第53号	公有財産取得に伴う土地売買契約	可 決
議案第54号	公有財産取得に伴う土地売買契約	可 決
議案第55号	平成23年度伊仙町一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第56号	平成23年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第57号	平成23年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第58号	平成23年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第59号	平成23年度伊仙町上水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決

平成23年 第4回伊仙町議会定例会 陳情・発議一覧

番 号	件 名	採 決 結 果
陳情第12号	T P P の締結に反対する陳情書について	採 択
陳情第14号	郵政改革法案の早期成立を求める陳情書について	採 択
発議第11号	郵政改革法案の早期成立を求める意見書について	原案可決

平成24年 第1回伊仙町議会臨時会 全議案 (会期1/11)

番 号	議 案 名	採 決 結 果
議案第1号	普通財産無償貸付契約	可 決
議案第2号	伊仙町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第3号	平成23年度伊仙町一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第4号	平成23年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第5号	伊仙町長等の給与の特例に関する条例の制定	原案可決

子や孫たちに誇れる町づくりを目指して!!

「伊仙町行財政調査特別委員会（平成23年3月設置）」

町行財政に関する問題点の改善策と対応策を結論づけることを最大の目的とし、特別委員会の逐次開催を踏まえ、分野別に調査と協議を行い、当特別委員会における調査報告を取りまとめ、第4回定例会閉会後に、上木勲特別委員長、永岡副委員長が大久保町長、中野副町長、茂岡教育長、稲総務課長へ来年度以降の行財政改革に関する提言として、委員長報告書を提出いたしました。

この報告書の主な内容は、まず財政面において、町が公共投資を行った（学校建設・ほーらい館等）の公債償還を考慮し、今後さらなる減量縮小財政下を想定した（※実質公債比率18.4%以上で起債許可団体）健全な財政運営を強く求めるものや、町の貯金となる各種基金等の計画的

な積み立て等も確実に行うべきであると提言いたしました。

つぎに、入札問題についても適正な入札執行を行い、今後の入札方法の検討（一般競争入札の導入等）を行うことが、地元業者育成の観点から大変重要であり、工事入札疑惑等がもたれないように鋭意努力されることを強く要望いたしました。

他にも、今後の町政発展の基盤である農業問題についても、町執行部ならびに農業委員会、関係機関が改めて一致団結し、農家が目的意識をもって、それぞれの仕事に励むことができるよう全面的に支援することも盛り込みました。

以上が主な内容であり、ますが、これらの問題を解決するためには多大

な労力を要し、町執行部はもとより町民の皆様におかれましても、町政発展のためには、「納税・各種負担金の納入等」が不可欠であります。町政施行50周年を迎えるこの節目の年に、改めて子や孫に誇れる町づくり、また住みやすい町づくりのためご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

（※提言書の詳細をご覧になりたい方は、議会事務局で閲覧頂けますので、ぜひご覧ください。）



今後の町づくりについて、厳しくも思い切った政策を打ち出すよう提言いたしました。
（写真は提言書を大久保町長に手渡し、上木 勲 特別委員長・永岡 良一 副委員長）

徳之島農業高等学校跡地に大島養護学校分校設置についての経過報告について

平成23年5月に開催された奄美群島議会議員大会において、全会一致で可決されました「鹿児島県立徳之島農業高等学校跡地に大島養護学校分校設置について」が、現在鹿児島県議会並びに県教育委員会等によって検討されているなかで先日、鹿児島県 原田耕蔵 教育長より平成25年度から、与論島の高校施設を利用した大島養護学校の訪問教育「与論方式」を、徳之島並びに沖永良部島においても実施する旨、公式発表されました。

改修等も行っていくとのことでもあります。

私たちは伊仙町議会並びに三カ町議員団も、各町の議会活動を通じて一刻も早い障がい者の住みやすい環境づくりを目指して頑張っているなかでの朗報に、関係者はもとより保護者の皆様に対して、微力ではありますが貢献できたことに大変嬉しく思っている次第であります。今後とも、町民の皆様には「大島養護学校分校設置」に向けての絶大なるご支援をお願い申し上げます。

今後は、この「与論方式」を踏まえ、段階的に障がいのある子供たちの受け入れや必要な校舎の

平成23年 第4回定例会

一般質問



杉並議員

問 女性職員の管理職登用について

答 女性の共同参画社会の主旨からして女性職員の管理職登用を前提に考えたときに女性職員が一生懸命研修、研鑽をつんで自らが総合職を担うという意識をもつて努力をしていただいた。又、課長研修等を重ねてそれに適する人物を男女の別なく採用していくという基本的な姿勢で今、臨んでいるところであります。

問 さとうきび対策について

答 メイチュウの発生時期が5月と9月から10月2回

の発生が確認されておりま
す。
フェロモントラップを島内の9カ所、内町内3カ所に仕掛けまして毎月調査をして確認しているところでございます。



サトウキビの生育初期を狙い、芯枯れを起こす原因となっているイネヨトウ（メイチュウ類）の幼虫。予防には農薬等の対応が求められます。

問 入札監視委員会設置について

答 平成13年から施行された入札契約適正化法において透明性の確保、競争性の向上、不正行為の排除ということについて推進せよということですが、市町村においては9割以上が採用ができない状況にあり、近隣市町村等の動向等も見極めながら委員会設置の可能性を探っていきたいと考えます。

問 入札制度の刷新について

答 条件付き一般競争入札の導入については、優秀業者に限定することで工事の成果の質を高める。また、住民からいただいている税の有効活用にもつながる

し、住民へ還元するという点からも入札の条件等について検討してみたいと考えているところであります。

問 工事予定価格の公表について

答 入札業務にかかわる職員の不祥事、この価格漏えい等の問題に絡んで、職員が処罰を受けるといふ事故等がありましたので、全国的な傾向として事前公表制というのをとったわけですが。ところが、この事前公表制が議員の指摘のとおり内容的に非常に高どまりになってしまったという弊害が一方出てきているということで、現在、国の方は公表制のほうに動いているようであります。県内市町村において公表制にかわるべきじゃないかということでも実施しているところもあります。私どもも建設課と協議をして、事後公表にしようという話を進めているところでもあります。

問 一事業二回入札制について

答 私達のほうでも初めて耳にする内容でありましたが、この内容からして私たちの所でも公共事業が3割減、4割減と言われる中で業者間の競争というのは非常に激しくなると思います。そういう中であつて工事成果としてすばらしいものを残さなければならぬ。その1点について考えたときにどういう方向で検討したほうがいいのか、あるいは内容把握に今後努めてできる限りこの実施に向けて取り組みたいと考えて臨んでおります。

問 入札制度の改善について

答 発注者が建設業者の技術的能力を適切に審査し、価格、品質で総合的に優れた上達を実現することが求められます。また、こうでなければいけないという考え方で、今後こういったことを含めていわゆる総合的

に価格のみでなく、それにプラスされるものを含めて業者選定指名に当たりたいところという考え方であります。また、伊仙町で採用している現行の制度が一応最低限度制限価格制度ということとなります。現行の入札制度は、この制度であって採用の理由は工事の品質保証が最大の目的であります。競争入札を行った場



明石議員

合、予定価格の範囲内で最低の価格で入札をしたものと契約することは、会計法及び地方自治法の原則になっていることも採用理由の一つであります。この制度の採用で支障をきたすような特段の事由はありませんが、最高の工事成果、納税者の視点を忘れず、制度の運用を心掛けていきたいと思っております。

問 町長が日ごろから教職員の町内居住ということについて話されているわけですが、平成24年度異動から、実施される決意であるのか、又その環境整備は整っているのか伺います。

答 教職員の町内居住については、これは確固たる決意で、これからも継続して

いきたいと思っております。24年からの件につきましては、町有地に民間の会社が住宅を作った場合には、20年間で譲与するという条例を本会議で採択していただきました。その準備と致しまして、今年度中に6棟完成する予定であります。さらに24年度中に30棟近くまで建設が進む予定でございます。具体的な教員への通知ということに関しましては、教員の歓迎会で全教員が町内居住するようをお願いしております。

問 新規就農者支援についてであります。農水省の発表によりますと、新規に就農する若者（40歳未満）に対する支援策として、年間150万円を支給するという報道がなされております。そういった取り組みが伊仙町ではあるのか、又、合わせて農地の集積対策も示されているが、取り組めるのか、伺います。

答 平成24年度から新規事業として始まる新規就農総合支援事業と新規就農倍増プロジェクトというのが国から発表されております。その中で実施に向けて地域農業マスタープランを作成しなきゃいけないということになっております。この作成の準備を平成24年度の当初で準備しているところでございます。

問 離島流通効率化・コスト改善事業交付金というのがあると思いますが、バレイシヨの保管倉庫及び種子用の冷蔵庫をJA等と連携

して建設が出来ないか。2月から3月の出荷時期になりますと天候に左右されバレイシヨの出荷が大変厳しくなります。定時定量出荷を実施してブランド化の実現をして農家所得向上を目指したいが、町長の考えを伺います。



1日も早いブランド化の実現を図り、農家所得の向上に発展することが強く求められる。(写真はJA選果場において)

ありますので、これらの事業を横断していかなきゃいけないと思っております。農協としっかり協議をしながら、时期的なものも含めて進めてまいりたいと思っております。

答 国土交通省の離島流通効率化・コスト改善事業交付金というのがございますが、奄美振興事業と重なっている部分がございますが、補助率等において、奄振事業が有利ということも

の総括はしたのか。総括をすることが今後の基礎になると思われます。簡単に説明願います。

答 10月30日徳之島3町合同防災訓練について総括がなされたかというこ

問 防災について伺います。先般、東面縄、古里集落において、避難訓練が行われました。伊仙町で集落単位で避難訓練が行われたのは、私が知る限り初めてのような気がします。今後このような訓練が繰り返されると思います。その時

とですが、これにつきましては、皆さんにご報告する機会がなく、本日になりましたけれども、コピーをしてお示しのとおりの流れで訓練を行ったところであります。防災訓練を初めて行ったという意識付けにおいては1つの成果があったのではないかという思いがあります。その中で、問題点としてはやはり、高齢者の方々、要援護者の方々、そして避難ルートをどうするか、問題点多々ありましたけれども、今後それらの問題点について一つづつ対処していきたいと思っております。



琉議員

問 伊仙町の名誉町民は、長寿世界一の泉重千代翁、本郷かまと媪、奄美復帰の父泉芳朗先生と過去の名誉町民の栄誉を受けられた方々は、いずれも偉大な功績であり、町民の誇れる称

のもあると思えます。それらのものにつきましては、今後早急に見直し適切な管理運営が出来るよう努力してまいりたいと思えます。以上5項目について質問をいたしました。紙面の都合で1回目の質問、答弁にとどめました。さらに、ダムの管理、堆肥センターの問題、経済課が管理しているハウス農場など、見直しの必要なもの、不適正なものの等質問をしております。議会会議録をご覧いただきたいと思えます。

問 行財政のコスト低減化対策について、厳しい財政状況下にある今日、町長がどのような基本方針を持って財政運営をされているか、財源確保に努め、行政全般に渡り見直しと各種施策の優先順位についても厳しい選択をし、就任以来、各課の統廃合や臨時職員の大幅削減、職員定数の見直しによる定数減等様々な取組をし、大きな成果を得たと

号にふさわしい方々ばかりであります。来年度は町制施行50周年の記念の年であります。この町制施行50周年の記念の年に名誉町民称号を贈る考えはないのか。

答 町制施行50周年を機に名誉町民条例をもとに、公共の福祉の増進や学術技芸の進展に寄与し、町民の生活文化に貢献し、その功績が卓越で町民の尊敬を受ける者に対して、選考委員会を設置して、3月議会へ提案したいと考えております。

問 経済産業関係の企業誘致と商店街活性化について伺います。役場周辺の県道拡張工事に伴い、中央商店街が後継者や様々な問題で商店が激減している現状です。地元商店街の振興対策や、スーパー等の企業誘致促進や優遇条例制定の意思はないのか質問をいたします。

答 地元商店街の振興対策

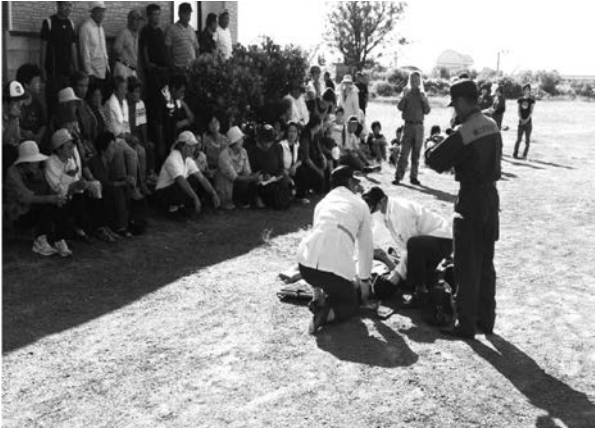
思いですが、三期十年、再度、組織機構の再編成や統廃合の考えはないのか。

答 組織機構の再編成や統廃合として、税務課と保健福祉課と協議をし、各課の税と国保税の一体化徴収として、徴収対策室の再編成を行う予定にし、経済課、耕地課、農業委員会、地籍調査室をワンフロアに配置して農政部という形で位置づけ、横の連携をとり業務の合理化を図り、行政サービスの制限条例を制定し自主財源確保に努めてまいります。

問 地震対策について、東日本震災を受けて全国各地において避難訓練が実施されていますが、伊仙町においても避難訓練を実施致しましたが、その現状はどうだったのか。問題点はなかったのか。避難場所での緊急用具、生活用品の備蓄はされているのか。

答 問題点としては、大きく災害時の要援護者への対応と自主防災組織との連絡網がスムーズにいかなく

として地元消費、販売拡大を図るため、町と商工会が連携を密にし、プレミアム商品券の活用による活性化と企業誘致に昨年は、徳之島ビジョン株式会社、今年度は奄美大島信用金庫の誘致が決定致しております。企業誘致条例、規則により、用地及び施設の斡旋提供、道路、水道等の公共施設整備の推進と、今後も議員のご指摘のとおり条例に基づいて支援をしてまいりたいと思えます。



昨年行われた、大津波を想定した三町合同避難訓練。
間もなく1年が経過しますが、平時から住民の危機管理意
識の向上を促す必要があります。

た点や、警報放送が聞き取りにくい等あり、反省点として次回の訓練に生かしたいと思えます。緊急用具、生活用具の備蓄は町としては、残念ながら備蓄しておりませんが、社会福祉協議会に緊急用具、救急用具が13セット、宝くじ助成事業で幾つかの集落に、炊き出し用鍋と釜が購入されています。また農高跡建物に寝具、炊事用具があり、今後活用の検討と防災対策の徹底を図りたいと思えます。

問 社会福祉関係について、身障者向けの施設改善等、現在身障者向けのトイレの管理の現状と対策について具体的にどうされているのか。

答 平成6年に成立したハートビル法に基づき、バリアフリー化を推進していますが、財政上なかなか進んでいない現状も見受けられ、管理につきましては、担当各課で行っております。今後財政状況を見ながら施設改善等も進め管理面もご指摘の一括管理を検討

し、もてなしの町福祉の厚い対応が出来る政策を進めてまいります。

問 老人福祉について、高齢化社会にあつて老人福祉対策は、長寿と子宝の町において、豊か

で生きがいのある老後の確立に向けて、大きく取り組みなければなりません。介護を受けている高齢者は介護施設や介護制度を利用しておりますが、まだまだ健康で自立している高齢者や老人クラブの方々に生きがいを与える変化に富んだ施策は考えられないか。

答 地域支え合い推進事業の一環に高齢者の生きがい対策として、アンケートを実施中で、内容については、自分の技術、経験を生かすこと、人とのつながりを広げること、健康や体力に自信がつくこと、地域社会に貢献すること等が示されました。こうした希望、要望に対してどう事業展開していくかが、重要であつて今後この意見を大切に健康長寿が第一であり、介護予防に向けても社会福祉協議会とも連携を取りながら地域での人と人との交流を深め、今後の方策に生かしていきたいと考えております。

問 教育関係について、完全学校週5日制の導入が定着した今日、児童、生徒の学力の現状はどうなのか。また、エネルギー環境教育、食と農業教育等の平日には難しい体験型教育を推進する、土曜日授業の考えを、自治体独自で取り組む考えはないのか。

答 現状としては小学校5年生の全教科と中学校1、2年の国語科、英語科において、県平均と同等もしくはそれを上回る結果を残しております。中学校1、2年の理数系については課題を残しておりますが、学力の向上について改善が図られている現状であります。また、土曜授業につきましても教育課程にかかわる教育活動を実施致しており、土曜日に運動会や日曜日の文化祭や授業参観等を行い、地域の方々や保護者が教育活動に参加しやすいこと、開かれた学校づくりの

観点からも大切なことで、ご指摘のとおり体験型あるいは地域と密着した連携を今後も続けていきたいと思えます。

問 学校給食について、政府の子ども手当の先送りや見直して児童生徒を持つ親の負担軽減等に学校給食費の無料化や減額の考えはないのか伺います。

答 少子高齢化に伴う人口減と将来にわたつての教育費の増の問題で、教育の子育て支援についてアンケート調査を実施し、給食費の無償化に対して462名中回収率63.4%、賛成の方が64.07%、反対が28.14%、どちらともいえないのが7.8%でございます。その結果を踏まえて町執行部と教育委員会で協議をし調査の内容を検討し予算の優先順位等を付けて今後、周知徹底、熟知、熟慮した中で実施する結論に達しました。



伊藤議員

問 徳之島農業高校跡地利用について

徳之島障がい児親の会から徳之島農業高校跡地への分校・分教室の陳情、また、大島郡町村議会議長会から徳之島農業高校跡地への分校設置を求める陳情と双方審議されている中で分校、分教室と意見が一致していない箇所について、また、今後さらに徳之島農業高校跡地に大島養護学校分校設置を働き掛ける必要があると思うがどう考えるのか。

答 平成24年度末の与論高校の分教室の結果を検証して徳之島に分校あるいは分教室の設置について考えるということを言われました。徳之島農業高校跡地を伊仙町に譲渡するということが決まりましたので町

長、議会そして教育委員会一体となってこの跡地への分校設置を働きかける必要があると思います。

問 農業行政について

コーヒーマの木の植付場所、木に対しての環境面等組合員の方々にどのような指導をしているのか。

答 徳之島コーヒーマの栽培参加条件が5条件あります。一つは、農薬を使用せず栽培する事、二つ目は、化学肥料を使用せず栽培すること、三つ目は、防風対策を徹底すること、四つ目は、土壌分析を定期的に行い適正な土壌で栽培する事、五つ目は、収穫、加工工程に障がい者、長寿者を参加させる事、この五つが徳之島コーヒーマを生産する為の参加要件です。

問 長命草(まあぎく)の今までの収穫実績はどのようになっているのか。

答 組合員数が26戸で植付面積が96a、植付けて

いる組合員数が13戸です。出荷実績は、23年4月、5月、7月、10月の4回の収穫で2,569kg、金額にしますと約45万円ぐらいです。26名の組合員の方々が1月までに植え付ける面積が合計で3.1haの予定です。

問 住宅建設について

西部地区に住宅建設という事で今年度は犬田布集落の亀戸住宅が現在工事中で来年3月完成となっています

が、平成24年度の建設予定の木之香集落と糸木名集落の住宅建設についての構想や概要はどのようになっているのか。

答 木之香地区、糸木名地区の住宅建設につきましては、平成24年度以降それぞれ木造二階建ての6戸づつ計12戸の住宅を予定しています。木造二階建ての構造で規模といたしましては2DKが4戸、3DKが8戸です。



西部地区(犬田布集落)に建設中の亀戸住宅。今後も、年次的に定住促進や人口増を目指して、計画的に住宅整備を行なうことを要望しました。

さとうきび農家の皆様へ

さとうきびの害虫であるメイチュウ(イネヨトウ)による被害が、発生しております。メイチュウは、年に5~7世代を繰り返しており、メイチュウに加害されると芯枯れなどの生育不良を起こします。

防除は、ほ場内外のイネ科雑草の防除を徹底し、ほ場に害虫が侵入していないか確認及び点検をし、農薬散布を行ってください。

(防除方法、薬剤の種類等は役場経済課及び南西糖業(株)業務事務所までお問い合わせください。)

春植えに対する薬剤助成も行っております。

但し、助成期間は3月31日を以て締切となりますので、予めご了承ください。

	定価	→	助成額(500円引き)
プリンスバイト	3,861円	→	3,361円
アドバンテージS粒剤	1,540円	→	1,040円

徳之島交流ひろば「ほーらい館」に 法務局窓口を開設

これまで、徳之島合同庁舎（国）の庁舎内にありました「鹿児島地方法務局徳之島出張所」が、平成24年1月30日（月）から同奄美支局において取り扱うこととなり、徳之島出張所が廃止されることとなりました。このことから、廃止に伴う各種サービス方法が以下のとおり変わりましたので、町民の皆様へお知らせいたします。

①月1回登記官を各町に派遣し、派遣登記所を開設し、登記申請の受付及び登記相談を受け付けます。

②ほーらい館に設置している証明書発行請求機により、各登記の証明書を発行します。

（※証明書発行に伴うお支払いは、郵便局等で収入印紙をご購入のうえ、窓口担当に収入印紙をお渡しください。）

（※窓口取り扱い時間は、月～金曜日の午前9時～午後4時）



写真は、ほーらい館内に設置してあります、法務局の窓口です。癒ていなホール隣に設置してありますので、ご利用の際は法務局内の窓口担当へお問い合わせください。



各種申請書類は、法務局内の窓口にあります。この証明書発行機にてお手続きを行って頂き、お求めの申請書類を窓口担当から直接お受け取り下さい。

※不動産及び商業・法人登記に関する証明書の請求方法等について

証明書の種類	請求方法	手数料
①登記事項証明書 (不動産登記、商業・法人登記)	窓口請求・郵送請求	700円
	オンライン請求・送付	570円
	オンライン請求・窓口交付	550円
②会社・法人の印鑑証明書	窓口請求・郵送請求	500円
	オンライン請求・送付	460円
	オンライン請求・窓口交付	440円

③証明書の請求用紙を各町役場に備え付け、郵送により証明書を発行します。

なお、オンラインでの各申請、請求も可能ですが、詳しいことは下記の法務局にお問い合わせください。

記

鹿児島地方法務局奄美支局（奄美市名瀬入舟町23番1号）
TEL：0997-52-0376

祝 しま一番コンテスト

主催：奄美群島広域事務組合・奄美群島観光連盟

最優秀賞受賞

美ら村ファーム・島黒工房

去る平成23年12月5日（月）徳之島町「美農里館（みのりかん）」にて土産品等の開発や地域資源を活かす特産品づくりの生産者を対象とした、技術向上と商品開発意欲向上を図る目的として、「しま一番コンテスト」が開催されました。10社からスイーツや加工食品の出品があり、その中から伊仙町の「美ら村ファーム・島黒工房」が自社で飼育・生産している豚肉を使った加工食品が「最優秀賞」を受賞しました。

今後、島内だけでなく、島外へも出品する予定があるそう、伊仙町及び徳之島の新たな特産品として注目が集まることが期待されます。そこで今回、「しま一番コンテスト」で最優秀賞を受賞した美ら村ファーム並びに島黒工房さんの最優秀賞受賞までの経緯と今後の課題について伺いましたので、町民ならび

に事業者各位の皆様にご紹介いたします。

「事業実績報告と今後の取り組みについて」

名称：美ら村ファーム・島黒工房

事業名：鹿児島県ふるさと雇用再生特別基金事業（島豚加工品開発事業）

委託者：伊仙町長 大久保 明

代表 村田 勉

事業期間：平成22年4月1日～平成24年3月31日（2年間）

事業内容

◆平成22年4月1日から平成23年3月31日まで3人を雇用し、島豚加工品開発に着手、伊仙町佐弁の県道沿いに所在する島黒工房（商品開発、加工、販売所）準備を行う。

平成22年度の事業費（630万円）

◆平成23年4月1日から平成24年3月31日までは、4人を雇用し、平成23年6月に加工販売所をオープン盛業中。

平成23年度事業費（940万円）

以上、事業内容の説明を行いました。さらにこれまでの経緯と結果の報告、今後の課題についてご説明いたします。

①「農業生産額50億円目標達成への挑戦」とU・Iターナーの受け入れ

伊仙町の政策目標に、U・Iターナーの受け入れ対策と「農業生産額50億円」目標達成を掲げており、その一助になればとの思いで奄美の「島黒豚を復活させ、生産から加工直売所まで手掛けることで、島興し」にもつなげられるのではと考え取り組んできました。また、その島黒豚を使用した加工品や商品開発に

ついて、北海道（北見市）から移住してきた、村田勉さんと知り合い、村田さんの食肉加工に関する技術を活かしつつ、試行錯誤を繰り返し現在では、ギフトセットを含め各種の製品を開発し、販売する運びとなりました。

②島の新たな特産品としての付加価値と今後の取り組みについて

昨年12月に徳之島の美農里館（みのりかん）において開催された、「奄美群島しま一番コンテスト」の徳之島ブロックにおいて、島黒工房から出品した加工商品が見事最優秀賞を受賞しました。また、これを皮切りに徳之島ひいては奄美群島を代表して、今年2月9日から開催されました「大鹿児島展（東京・東武百貨店）」で出店し、大好評のもと完売することができました。これを機に、今

後リピーターが増えることを期待し、さらに6次産業化に向けての国や県、地方自治体の取り組みにも寄与していけるものと思っております。

最後に、4月1日からスタートする「奄美群島物産協会」にも期待しておりますが、同じく4月から新たに運営されます「徳之島食肉加工センター（と畜場）」のオープンも合わせて、有効利用し外貨を稼ぐためにはどうしたらいいのか知恵を出さなければなりません。また、世界自然遺産登録についてもとり沙汰されているなかで、環境問題にも十分配慮をし、生産者（養豚業）の育成、加工施設、貯蔵施設の充実を図り、さらには流通の整備等々、課題解決に尽力していく次第であります。

今後とも町民ならびに徳之島島民に寄与できる事業

展開を行ってまいりたいとおもいますので、さらなるご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

文責 美島 盛秀



議 会 の う ら づ き

平成23年10月

- 20日 行財政調査特別委員会事前打合せ（百菜）
- 25日 行財政調査特別委員会事前打合せ（ほーらい館）

熊本県球磨郡多良木町議会厚生文教常任委員会（5名）所管事務調査で来庁（役場、百菜、ほーらい館、資料館）

- 26日～28日 離島議長行政調査に議長が出席（沖縄県竹富町）

平成23年11月

- 3日 第34回町民文化祭に出席（伊仙町総合体育館）
- 8日 平成23年第3回伊仙町議会臨時会告示
- 15日～16日 町村議会議長全国大会、議長研修会、第30回離島振興市町村議会議長全国大会に議長が出席（東京）

- 15日～19日 所管事務調査に全議員が参加（東京、北海道）

- 20日 犬田布中学校新校舍落成記念式典祝賀会に議員が出席（犬田布中学校）

- 23日 第35回伊仙町産業祭に議員が出席（ほーらい館）

- 24日 第2回奄美群島広域事務組合議会定例会に議長が出席（奄美市）

- 29日～12月2日 平成24年度奄美群島振興開発事業予算等に関する要望活動に議長が出席（東京）

平成23年12月

- 8日 法務局出張所廃止についての説明会に副議長、二常任委員長が出席（町長室）

- 12日 議会運営委員会（議会委員会室）

- 13日 平成23年第4回伊仙町議会定例会開会

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

～「議会中継」インターネットで随時配信中～

ご視聴ありがとうございます。

おかげさまで、通算3000アクセスを突破。町民の皆様をはじめ、町内外からお寄せいただいたご意見やご要望、また納めた税金がどのように使われているのか、すべてが議会中継で視聴できます。議会中継の放送時間は、議会開会中は生放送を行っており、生放送が視聴できない方の為の録画配信は、「24時間いつでも」インターネット環境が整っているお手持ちのパソコン、またはスマートフォンから視聴可能です。

ご覧になられたことがない方は、ぜひこの機会にご覧いただきますようご案内致します。



アクセス方法

伊仙町公式HPをアクセス→伊仙町公式HP内の右端にあるアイコンをアクセスすれば視聴可能です。アクセス後USTREAMのサイトへ移行します。

- ※議会中継を視聴された方からの要望等
- ・議員や各担当課長の氏名がわかるようにしてほしい。(町内男性)
- ・議会において審議中の議案名をテロップで表示してほしい。(町内女性)
- ・中継時の照明具合や音声の改善をお願いしたい。(町内男性)
- ・休憩中の間に町に関係するCMを流してほしい。(町内女性)

等々、たくさんのご要望を頂いております。このようなご要望にこれからも伊仙町議会としては、真摯に対応させて頂きたいと考えておりますので、ぜひ議会中継ならびに伊仙町議会に関してのご意見やご要望をお待ち申し上げております。

連絡先
 伊仙町議会事務局
 TEL：0997-86-3111 (内16)
 FAX：0997-86-2301
 住所：〒891-8293
 鹿児島県大島郡伊仙町大字伊仙1842番地

委員会構成が代わりました

議会運営委員会委員名簿 平成24年2月3日～平成26年2月2日

	委員名	備考
議会運営委員会委員	琉 理人	委員長
議会運営委員会委員	清水 喜玖男	副委員長
議会運営委員会委員	永岡 良一	
議会運営委員会委員	前 徹志	
議会運営委員会委員	伊藤 一弘	副議長

総務文教厚生常任委員会委員名簿 平成24年2月3日～平成26年2月2日

	委員名	備考
総務文教厚生常任委員会委員	琉 理人	委員長
総務文教厚生常任委員会委員	前 徹志	副委員長
総務文教厚生常任委員会委員	上 木 勲	
総務文教厚生常任委員会委員	杉並 廣規	
総務文教厚生常任委員会委員	福留 達也	
総務文教厚生常任委員会委員	永田 誠	
総務文教厚生常任委員会委員	常 隆之	議長

経済建設常任委員会委員名簿 平成24年2月3日～平成26年2月2日

	委員名	備考
経済建設常任委員会委員	清水 喜玖男	委員長
経済建設常任委員会委員	永岡 良一	副委員長
経済建設常任委員会委員	美島 盛秀	
経済建設常任委員会委員	明石 秀雄	
経済建設常任委員会委員	佐藤 隆志	
経済建設常任委員会委員	樺山 一	
経済建設常任委員会委員	伊藤 一弘	副議長

編集後記

平成二十四年度は、伊仙町制施行五十周年の記念の年であります。今年は、「五十周年」の文字が頻繁に出てきます。一人の人生をマラソンに例えれば折り返し点にきました。町制五十年を振り返ると共に、伊仙町議会も歴史を振り返り、学ばべき点、反省すべき点を再度見直して、町民の声を大事にし、残りの五十年を真摯に見据え、百周年までの世代を高所大局の判断で議会に臨みたいものです。議会委員会構成も再編成が進み、新たな気持ちで広報委員会も、より多くの情報を収集編集し、町民の皆様に発信したいと思っております。今後共議会に対するご意見、ご要望等お寄せください。

(文責 琉理人)

議会広報編集委員会

- 委員長 琉 理人
- 副委員長 清水喜玖男
- 委員 永岡 良一
- 委員 前 徹志
- 委員 伊藤 一弘